

《林美月子先生業績目録》

導入対話刑法総論（共著 新倉明他）

（二〇〇〇年四月 不摩書房）

「責任能力」（二五七～一六五頁）、「期待可能性」（一六

五～一七二頁）、「罪数」（二五五～二六二頁）の項

注釈特別刑法五卷（共著）（一九八四年四月 立花書房）

一著 書
一九六七年カリフォルニア州矯正局長規則（共著）

（一九七九年三月 法務省）

法務省矯正局監獄法改正資料二六号

考える刑法（共著 町野朔・西田典之他）

（一九八七年九月 弘文堂）

「責任能力」「原因において自由な行為」（二一二～二五

三頁）の項

刑法判例大系 総論（共著 内田文昭他）

（一九八八年四月 八千代出版）

「責任論」（二〇九～一五六頁）の項

刑法判例大系 各論（共著 内田文昭他）

（一九八九年三月 八千代出版）

「偽造罪」（一九一～二三四頁）、「洗職の罪」（二八一～

三〇五頁）の項

情動行為と責任能力（単著）（一九九二年七月 弘文堂）

改訂刑法判例大系（共著 内田文昭責任編集）

（一九九四年四月 八千代出版）

「責任論」（二〇七～一五五頁）の項

（一九八六年二月 八千代出版）

「名譽・信用に対する罪」（二二五～一四二頁）の項

争点ノート刑法I 総論（共著 内田文昭編）

（一九八八年二月 法学書院）

「確定的故意と未必的故意」（六六～六八頁）、「認識のな

い過失と認識のない過失」（七二～七五頁）、「責任主義」

（二二一～二三三頁）、「責任能力の意義」（二二七～二二

九頁）、「限定責任能力」（二三〇～一三三頁）の項

争点ノート刑法II 各論（共著 内田文昭編）

（一九八九年二月 法学書院）

「居住者の承諾と住居侵入罪」（四六～四八頁）、「本権説

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

（一九八九年二月 法学書院）

と所持説」(六七～六九頁)の項

判例マニユアルⅡ 刑法各論(共著 香川達夫編)

(一九八九年六月 三省堂)

「背任および横領の罪の項」(二三八～二六〇頁)、「犯人

蔵匿罪と共犯関係(一八一～一八三頁)の項

逐条判例刑法(共著 内田文昭他編)

(一九九〇年七月 法学書院)

「三九条～四二条」(四九～五二頁)、「一〇三条～一〇五

条の二」(八四～八八頁)、「三三〇条～三三二条」(一九

三～一九六頁)

平野龍一先生古稀祝賀論文集(共著)

(一九九〇年九月 有斐閣)

「クレジットカードの不正使用と詐欺罪」(四六七～四九

三頁)

条解精神衛生法(共著 大谷実他編)

(一九九一年六月 弘文堂)

「応急入院」(二八七～一九六頁)の項

キーワード(共著 町野他編)(一九九二年三月 有斐閣)

「状態犯と継続犯」(四二～四三頁)、「原因において自由

な行為」(六〇～六一頁)、「不法領得の意思」(一七〇～

一七一頁)の項

精神障害者の責任能力(共著 中谷陽二編)

(一九九三年一月 金剛出版)

「情動行為と責任能力」(一一四～一三五頁)

内藤 謙先生古稀祝賀論文集(共著)

(一九九四年二月 有斐閣)

「錯誤に基づく同意」(二三～五三頁)

刑法マテリアルズ(共著 西原春夫他編)

(一九九五年六月 柏書房)

「責任能力」(三三二～三五二頁)の項

アルマ刑法(共著 町野朔他編)

(一九九五年二月 有斐閣)

「責任能力」及び「期待可能性」(九七～一〇五頁、一四

一～一四八頁)の項

現代社会における没収・追徴(共著 町野朔他編)

(一九九六年二月 信山社)

「没収・追徴と均衡原則」(四四～六一頁)

刑法理論の現代的展開 各論(共著)

(一九九六年六月 日本評論社)

「性的自由・性表現に関する罪」(五八～七五頁)

松尾浩也先生古稀祝賀論文集上巻(共著)

(一九九八年七月 有斐閣)

「責任能力と法律判断」(三〇九～三三八頁)

新判例マニユアル(共著 香川達夫編)

(一九九八年一〇月 三省堂)

「結果的加重犯と過失の要否」(一六六～一六七頁)、「心

神喪失と心神耗弱」(一六八～一六九頁)、「精神分裂病と責任能力」(一七〇～一七一頁)、「原因において自由な行為―故意犯の場合」(一七二～一七三頁)、「原因において自由な行為―過失犯の場合」(一七六～一七七頁)、「心神耗弱と原因において自由な行為」(一七六～一七七頁)、「実行行為と責任能力」(一七八～一七九頁)の項

三訂 刑法判例大系(共著 内田文昭責任編集) (二〇〇二年一〇月 八千代出版)

「責任論」(一一一～一五四頁)の項
内田文昭先生古稀祝賀論文集(共著)

(二〇〇二年一月 青林書院)

「親族間の財産犯罪」(三三一～三五三頁)

刑事法辞典(共著 三井誠、町野朔、曾根威彦、中森喜彦、

吉岡一男、西田典之編) (二〇〇三年三月 信山社)

「一般予防」(一六頁)、「応報刑」(三六頁)、「刑事未成

年」(一八八頁)、「限定責任能力」(二二〇頁)、「強姦

罪」(二三二頁)、「常習犯」(四二〇頁)、「心神喪失」

(四五四頁)、「心神耗弱」(四五三頁)、「特別予防」(五

九一頁)、「部分的責任能力」(六八六頁)、「目的刑」(七

六一頁)の項

導入対話刑法総論第二版(共著 新倉修、酒井安行、高橋規夫、中空壽雅、武藤真朗、只木誠編)

(二〇〇三年四月 不磨書房)

「責任能力」(一六二～一七〇頁)、「期待可能性」(一七〇～一七六頁)、「罪数」(二六一～二六八頁)の項

アルマ刑法総論第二版(共著 中森喜彦、町野朔編)

(二〇〇三年四月 有斐閣)

「責任能力」(九二～一〇〇頁)、「期待可能性」(一三六～一四三頁)の項

環境刑法の総合的研究(共著 町野朔編)

(二〇〇三年九月 信山社)

「フランスの環境刑法」(二三九～二六四頁)
刑法判例体系 各論 第二版(共著 内田文昭他)

(二〇〇六年三月 八千代出版)

「取引の平穩に対する罪」(一九九～二三三頁)、「汚職の罪」(二九三～三二三頁)の項

導入対話による刑法講義(総論)第三版(共著 新倉修他)

(二〇〇六年四月 不磨書房)

第三編 第四章五 責任能力(一六三～一七〇頁)、六

期待可能性(一七〇～一七六頁)、第四編 第三章 罪

数(二六一～二六八頁)の項

司法精神医学 第一卷 司法精神医学概論(共著 松下正明

総編集) (二〇〇六年三月 中山書店)

「裁判のプロセス、手続き」(二三五～二四一頁)
学習コンメンタール刑法、インターネットコンメンタール刑

法(共著) (二〇〇七年三月 日本評論社)

「累犯」(二二〇〜二二四頁)の項

精神科医療と法(町野朔先生還暦祝賀論文集)(共著 中谷

陽二編) (二〇〇八年 弘文堂)

「情動行為の責任能力判断」(二二三〜四四頁)

新・コンメンタール刑法(共著 伊東研祐・松宮孝明編)

(二〇一三年三月 日本評論社)

「累犯」(一四二〜一四六頁)の項

刑事法・医事法の新たな展開上巻(町野朔先生古稀記念

(共著 岩瀬徹・中森喜彦・西田典之編集代表)

(二〇一四年三月 信山社)

「複数行為と過剰防衛」(二二一〜三六頁)

西田典之先生献呈論文集(共著) (二〇一七年 有斐閣)

「PTSDの発症と傷害―最高裁判成二四年七月二四日

決定を契機として」(二六五〜二八二頁)

刑事法学の未来(長井圓先生古稀記念論文集)(共著)

(二〇一七年 信山社)

「精神鑑定を採用し得ない合理的事情」(六一〜七五頁)

日高義博先生古稀祝賀論文集

(二〇一八年刊行予定 成文堂)

「人の始期」

二 論 文

窃盗罪における不法領得の意思についての一考察(一)

警察研究五三卷二号(一九八二年二月) 四三〜五五頁

窃盗罪における不法領得の意思についての一考察(二)

警察研究五三卷四号(一九八二年四月) 六七〜七八頁

窃盗罪における不法領得の意思についての一考察(三)

警察研究五三卷六号(一九八二年六月) 四三〜五六頁

情動による意識障害〔ドイツ判例研究〕

警察研究五三卷六号(一九八二年六月) 八八〜九三頁

精神病質と責任能力〔ドイツ判例研究〕

警察研究五三卷六号(一九八二年六月) 九〜九八頁

窃盗罪における不法領得の意思についての一考察(四)

警察研究五三卷七号(一九八二年七月) 二五〜四四頁

幻覚犯「ドイツ判例研究」

警察研究五三卷七号(一九八三年七月) 六二〜七二頁

情動行為と刑事責任(一)

神奈川法学一八卷二号(一九八三年一月) 一〜五〇頁

情動行為と刑事責任(二)

神奈川法学一八卷三号(一九八三年三月) 五九〜一三

七頁

情動行為と刑事責任(三)

神奈川法学一九卷一号(一九八三年八月) 一二三〜一

八四頁

実行行為と責任能力

神奈川大学法学研究所研究年報四号（一九八四年三月）一～二七頁

横領と背任

法学教室一九八五年五月号一五三頁

傷害の意義

法学教室一九八五年七月号一三三頁

責任能力と故意—リフォオルニア州の判例をめぐって—

神奈川法学二一巻一号（一九八六年一月）一二一～一四五頁

責任能力規定をめぐって—模範刑法典修正アプローチとメンズ・レアアプローチの対立—

神奈川法学二二巻二号（一九八七年二月）二二二～二五五頁

一五頁

実質的責任概念

刑法の争点（新版・一九八七年三月）七〇～七一頁

不法領得の意思

刑法の争点（新版・一九八七年三月）二五四～二五五頁

頁

一時使用

刑法の争点（新版・一九八七年三月）二五六～二五七頁

頁

精神障害者に対する有罪判決

神奈川大学法学研究所研究年報九号（一九八八年三月）七七～九九頁

赃物罪

有斐閣別冊法学教室

刑法の基本判例（一九八八年四月）一六四～一六七頁

文書概念、名義人による変造〔ドイツ判例研究〕

警察研究五九巻六号（一九八八年六月）六〇～七〇頁

状態犯と継続犯

神奈川法学二四巻二・三号（一九八九年三月）一～二九頁

九頁

量刑における二重評価の理論

神奈川法学二二巻一号（一九九〇年一月）一三五

～一六一頁

責任能力の諸問題

刑法雑誌三一巻四号（一九九一年五月）九四～一二三

頁

幫助の因果性

法学教室一九九二年二月号三三二頁

性的自由・性表現に関する犯罪

法学セミナー一九九二年一月号九〇～九六頁

量刑事情と評価方向

神奈川法学二七巻二・三号（一九九二年一月）一三五～一六七頁

五～一六七頁

実行行為途中からの責任無能力

神奈川法学二八巻一号（一九九三年七月）二八三～三〇六頁

責任無能力者の精神施設への収容継続要件

許された危険

神奈川法学二九卷二号(一九九四年五月) 一四一〜一

刑法の争点(第三版・二〇〇〇年十一月) 三八〜三九

五八頁

頁

没収・追徴と均衡原則

保護責任の発生根拠

神奈川法学三〇卷一号(一九九五年三月) 一七一〜一

刑法の争点(第三版・二〇〇〇年十一月) 一三六〜一

九〇頁

三七頁

責任能力判断の検討

実行途中からの心神喪失・心神耗弱

刑法雑誌三六卷一号(一九九六年八月) 七三〜八二頁

現代刑事法二〇号(二〇〇〇年十二月) 四九〜五四頁

責任無能力抗弁廃止のその後

ニューヨーク州の責任無能力制度をめぐって

神奈川大学法学研究所研究年報一号(一九九六年一月) 一〇三〜一三二頁

神奈川法学三五卷一号(二〇〇二年一月) 八一〜一〇二頁

過剰防衛と違法減少

精神障害と刑事責任能力

神奈川法学三二卷一号(一九九八年三月) 一〜一六頁

現代刑事法三六号(二〇〇二年四月) 四〇〜四五頁

責任能力の認定

配偶者による暴力・ドイツの対応

産大法学三二卷二・三号(一九九八年十二月) 二三九

神奈川法学三五卷二号(二〇〇二年四月) 一一七〜一

〜二五七頁

四九頁

責任能力と鑑定

心神喪失者医療観察法案について

季刊刑事弁護一七号(一九九九年一月) 三七〜四〇頁

ジュリスト一二三〇号(二〇〇二年九月) 二二〜二五

フランスの環境刑法

頁

神奈川法学三二卷三号(一九九九年三月) 一〜三二頁

一過性の障害および主観的犯罪要素の鑑定

責任能力後の入院と精神医療審査会

季刊刑事弁護三二号(二〇〇二年一〇月) 五〇〜五五

産大法学三四卷三号(二〇〇〇年一〇月) 二〇八〜二

頁

四五頁

責任能力制度と精神医療の強制

- 町野朔編 精神医療と心神喪失者等医療観察法(二〇〇四年三月 有斐閣) 一一二～一一六頁
- PTSDと傷害
- 神奈川法学三六卷三号(二〇〇四年三月) 二一九～二四三頁
- 偽証罪小論
- 立教法学七〇号(二〇〇六年三月) 一九三～二一四頁
- 不法領得の意思と毀棄・隠匿の意思
- 立教法学七五号(二〇〇八年三月) 一～二二頁
- 責任能力、補助公務員の作成権限
- 刑法の争点(第四版・二〇〇七年一〇月) 八二～八三頁、二二八～二二九頁
- 医療観察法における医療の必要性
- 刑事法ジャーナル一九号(二〇〇九年一〇月) 一一～一七頁
- 刑事責任能力と裁判員制度―刑法学の立場から―
- 法と精神医療二四号(二〇〇九年一月) 四一～六二頁
- 窃盗後の二項強盗
- 立教法学七九号(二〇一〇年三月) 一～二九頁
- 家庭内暴力(DV)と犯罪立法
- 刑法雑誌五〇巻三号(二〇一一年三月) 四一七～四二七頁
- 家庭内暴力と正当防衛
- 神奈川法学四三巻一号(二〇一一年二月 山火正則教授退官記念号) 四三～六七頁
- 研修七五六号(二〇一一年六月) 一～一四頁
- 医療観察法の対象行為と故意
- 責任能力判断と精神鑑定
- 立教法学八七号(二〇一三年三月) 二四六～二八六頁
- 情動行為と意識障害
- 立教法務研究九号(二〇一六年三月 廣瀬健二教授退職記念号) 一〇九～一四二頁
- III 判例評釈
- 刑法九五条一項にいう職務の範囲
- 警察研究五〇巻一二号(一九七九年十二月) 五九～六八頁
- 酒酔い運転の罪の犯意
- 警察研究五二巻四号(一九八一年四月) 六七～七一頁
- 防衛の意思と攻撃意思とが併存している場合と刑法三六条の防衛行為
- 警察研究五二巻八号(一九八一年八月) 六七～七〇頁
- 窃盗罪の成立に必要な不正領得の意思があるとされた事例
- 警察研究五三巻五号(一九八二年五月) 七五～八〇頁
- 常習累犯窃盗罪と窃盗の着手に至らない窃盗目的の住居侵入

の罪との罪数関係

警察研究五四卷一〇号(一九八三年一〇月)七四〜八

一頁

現業業務と公務執行妨害罪

刑法判例百選各論(第二版・一九八四年四月)二二八

〜二一九頁

二項強盗と包括一罪

法学教室昭和六二年五月号一二六〜一二八頁

二項強盗と包括一罪

法学教室別冊判例セレクト八七(一九八八年一月)二

九頁

ゴルフ場内のロストボールと窃盗罪

昭和六三年度重要判解説(一九八八年六月)一六四〜

一六五頁

不法領得の意思の内容

法学教室別冊判例セレクト八八(一九八九年一月)三

〇頁

複数の建物の現住建造物性

法学教室別冊判例セレクト八九(一九九〇年二月)三

六頁

故意犯と原因において自由な行為

刑法判例百選 I 総論(第三版・一九九一年三月)八〇

〜八一頁

情報の不法入取と横領罪

刑法制例百選 II 各論(第三版・一九九二年四月)一一

二〜一三頁

故意犯と原因において自由な行為

刑法判例百選 I 総論(第四版・一九九七年四月)七八

〜七九頁

情報の不法入手と横領罪

刑法判例百選 II 各論(第四版・一九九七年五月)一一

四〜一五頁

民事の対物没収は二重の危険条項の「処罰」にはあたらない

とされた事例

日米法学会アメリカ法一九九七 II (一九九八年三月)

二二一〜二二七頁

被告人は是非善悪の判断に従って行動する能力が著しく減弱

する状態で犯行に及んだのではないかとの合理的疑い

を否定できない事例

判例時報一六四〇号(一九九八年八月)二二一〜二二

五頁

約三年の間に合計三人を殺害するなどした被告人に対して、

心神喪失あるいは、心神耗弱との鑑定人の意見をいず

れも排斥した上で、死刑を言い渡した事例

判例時報一七〇六号(二〇〇〇年六月)二二一〜二二

五頁

承継的共犯(二)

精神鑑定の意見の一部採用と責任能力の有無・程度の判定

刑法判例百選 総論(第五版・二〇〇三年五月) 一六

平成二二年度重要判例解説(二〇一一年四月) 二〇二

二〇三頁

二〇三頁

顔写真の使用と人格の同一性

一 児童ポルノを、不特定又は多数の者に販売して提供する

刑法判例百選 各論(第五版・二〇〇三年五月) 一八

とともに、不特定又は多数の者に販売して提供する目

八〇一八九頁

的で所持した場合の罪数

ローンカードの詐取と現金窃盜の成否

二 児童ポルノであり、かつ、刑法一七五条のわいせつ物で

平成一四年度重要判例解説(二〇〇三年七月) 一四八

ある物を、不特定又は多数の者に販売して提供すると

一五〇頁

ともに、不特定又は多数の者に販売して提供すると

騙取金の新たな詐欺による支払い

で所持した行為が、全体として一罪とされた事例

法学教室二〇〇四年八月号一〇四一〇五頁

判例時報二一三〇号(二〇一二年一月) 一六五一六

不法領得の意思

八頁(判例評論六三五号一九二二頁)

平成一六年度重要判例解説(二〇〇五年六月) 一六一

精神鑑定の意見の一部採用と責任能力の有無・程度の判定

一六二頁

論究ジュリスト二号(二〇一二年八月) 二五八二六

責任能力の判断基準

二頁

刑法判例百選 総論(第六版・二〇〇八年三月) 六八

責任能力の基準

六九頁

刑法判例百選Ⅰ総論(第七版・二〇一四年七月) 七〇

詐欺罪と財産上の損害(三)

七一頁

刑法判例百選 各論(第六版・二〇〇八年三月) 九八

毀棄目的と毀棄目的と不法領得の意思

九九頁

刑法判例百選Ⅱ各論(第七版・二〇一四年八月) 六四

強制執行妨害罪の終了時期

暴力団関係者であることを申告せずにゴルフ場の施設利用を

平成一九年度重要判例解説(二〇〇八年四月) 一六五

申し込む行為と詐欺罪の成否

一六六頁

平成二六年度重要判例解説(二〇一五年四月) 一六七
 ～一六九頁

長井圓著「交通刑法と過失共同正犯論」〔書評〕

神奈川大学評論二三号(一九九六年三月) 一五二～一
 五三頁

タリオの原理〔隨筆〕

日本学術協力財団・学術の動向四卷四号(一九九九年
 四月) 五三～五五頁

IV その他(書評等)

Real Rape〔書評〕

日米法学会 アメリカ法一九八八―I(一九八八年七
 月) 五四～六一頁

第一〇回国連犯罪防止会議腐敗との闘いに関するワークシ
 ョ

森村進著『行為責任・性格責任・人格形成責任』を読んで

〔書評〕

ジュリスト一一九一年号(二〇〇〇年一月) 三二～三六
 頁

法の理論九(一九八八年一月) 二七九～二八八頁

責任能力の諸問題〔学会インフォメーション〕

第一〇回国連犯罪防止会議〔第一〇回国連犯罪防止会議につ
 いての報告〕

法学教室一二〇号(一九九〇年九月) 一〇頁

現代刑事法学の視点「中空壽雅」原因において自由な行為の

法理』の再検討」〔書評〕

刑法雑誌四〇巻二号(二〇〇一年二月) 二七三～二八
 〇頁

法律時報六三巻四号(一九九一年三月) 九〇～九三頁

法学の面白さ〔隨筆〕

一九九二学会だより〔日本法学会七〇会大会の報告〕

神奈川大学・学問への誘い(二〇〇一年三月) 一三～
 一五頁

法学教室一九九二年六月号九五頁

一九九三学会だより〔日本法学会七一回大会の報告〕

第一〇回国連犯罪防止会議に出席して〔国際会議報告〕

法学教室一九九三年七月号一二〇頁

学術の動向六巻四号(二〇〇一年四月) 七三～七五頁

責任と予防〔第七二回法学会ワークショップ「責任と予

立教大学法学会・新任教員の自己紹介

防」の質疑応答・フロアーの討論をまとめたもの〕

法学周辺三三三号(二〇〇五年) 三九～四二頁

刑法雑誌三四巻三号(一九九五年七月) 四五九～四六

〔書評〕安田拓人「刑事責任能力の本質とその判断」〔弘文
 堂、二〇〇六年〕

三頁

堂、二〇〇六年)

刑事法ジャーナル七号（二〇〇七年四月）一〇五～一

〇七頁

私が研究者になるまで「研究者としての変遷」

日本学術協力財団・学術の動向一二卷八号（二〇〇七年八月）七四頁

ワークシヨップ 責任能力と責任主義

刑法雑誌四七卷二号（二〇〇八年二月）二九四～二九

八頁

法律学の面白さ〔随筆〕

神奈川大学・学問への誘い 創刊三〇周年記念号（二

〇一七年一月、再収録）一三三～一三五頁